**てんかん　第1回「“てんかん”とは」01170201wtj**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ページ＃ | シートタイトル | 小見出し | 要点　「」はテロップ |
| P2下 | （脳の構造） |  | 神経細胞が集まって、その神経細胞に「電気」が流れていて、情報の伝達をしている。これがある理由によってスパークをする。あるいは、ある一部の脳の部分が通常に電気信号がうまく流れずに、その情報がきちんと流れないために、様々な行動や意識を失ったり、意識していないにもかかわらず、手が動いたり、まぶたがピクピクするような、様々な発作を引き起こすのがてんかんのメカニズムと言われている。 |
| P3上 | なぜ、てんかん発作は起こるのでしょう？ |  | 脳には神経細胞がたくさん入っている。「脳内に電気信号の乱れが生じ、神経細胞が異常に興奮することで（てんかん発作が）起こる」。脳波を測ると、正常は穏やかな波をとるが、「スパイク」といって、とげ状の独特のスパイクとして現れる。これが客観的に見た脳波計により見えるてんかん発作の状態。てんかん発作が起こっているのは、脳波によって調べることが通常行われる。 |
| P3下 | あらゆる年齢で発症します |  | 「子どもから高齢者まであらゆる年齢で発症する」。また、脳波に異常が出てスパイクが出ていても、「発作を起こさないで一生を終える方もいる」。いつでも、どこでも、誰でも起こる病気がてんかん。 |
| P4下 | 原因は… |  | 「てんかん発作の原因はよくわかっていない」。 |
| P5上 | 発作の誘因 |  | 「てんかん発作をお持ちの利用者を観察するときに、これからの誘因も背景的な条件として考える」。てんかん発作を起こさないためには、誘因を排除する意味では、規則正しい生活を送ることが非常に大事。 |
| P5下 | 発作が起こりやすい状況は？ |  | 集中している時にてんかんが起こると思いがちだが、「よくある例　作業時→発作を起こさない　作業後→発作を引き起こす」、緊張を解いた時に起こりがち。「緊張している時と解き放った時のパターン（生活の構造）が発作を起こしやすい」。発作が起こりやすい方は、いつどこでどういうふうに起こしているのか見ていくことがとても大事。起こりやすいのは、ほっとした時ということを覚えておく。 |
| P6上 | てんかん発作は治るのか？ |  | 「60％～70%の方が薬で発作を抑えることができる」。 |
| P7下 | てんかんと差別 |  | 福祉施設の職員は、ぜひ「正しい知識を持って、てんかんの患者（利用者）と接する」ことをしていただきたいと思う。 |